

海洋土木工学プログラム

○ディプロマ・ポリシー

海洋土木工学プログラムの学習・教育目標に基づくカリキュラムを履修し卒業に必要な所定の単位を修めるとともに、下記の学習・教育目標に示す能力や態度を身につけた学生に対して、卒業を認定し学位を授与します。

- [1] 持続可能な開発に向けた多様性と包摂性の必要性、および技術者の責任の理解
 - [1-1] 人と社会の多様性を認知して異なる立場や価値観を持つ人々と協働する意義の理解
 - [1-2] 工学分野における複合的な問題に対処する知識の獲得と技術者の責任の理解
- [2] 海洋土木工学分野に必要な知識の体系的な理解とそれを活用する能力
 - [2-1] 海洋土木工学分野に適用可能な数学、自然科学および情報技術の基礎知識を活用する能力
 - [2-2] 海洋土木工学に関連する専門的知識を活用する能力
- [3] 地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決する能力・態度
 - [3-1] 持続可能な開発に貢献するために必要な海洋土木工学分野の基礎知識を活用する能力
 - [3-2] プロジェクトをマネジメントするために必要なコミュニケーション能力
 - [3-3] 実験・調査・研究を通じた新技術への適応や継続的研鑽の必要性の理解

○カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下に示す方針に基づいて、教育課程（カリキュラム）を編成のうえ、実施します。また、カリキュラムマップを別表に示します。

1. 初年次から卒業まで系統性のある教育課程の編成

以下に示す技術者に必要な能力や態度を養成するための科目を配置します。

- [1] 持続可能な開発に向けた多様性と包摂性の必要性、および技術者の責任の理解
 - [1-1] 人と社会の多様性を認知して異なる立場や価値観を持つ人々と協働する意義の理解
 - [1-2] 工学分野における複合的な問題に対処する知識の獲得と技術者の責任の理解
- [2] 海洋土木工学分野に必要な知識の体系的な理解とそれを活用する能力
 - [2-1] 海洋土木工学分野に適用可能な数学、自然科学および情報技術の基礎知識を活用する能力
 - [2-2] 海洋土木工学に関連する専門的知識を活用する能力
- [3] 地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決する能力・態度
 - [3-1] 持続可能な開発に貢献するために必要な海洋土木工学分野の基礎知識を活用する能力
 - [3-2] プロジェクトをマネジメントするために必要なコミュニケーション能力
 - [3-3] 実験・調査・研究を通じた新技術への適応や継続的研鑽の必要性の理解

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

○アドミッション・ポリシー

<海洋土木工学プログラムの教育目標>

海洋土木工学プログラムは、土木工学と海洋学に関する専門教育を行い、土木工学に関する豊富な知識と判断力、海洋に関する深い理解および高い倫理観を有する技術者を育成することを目的としています。そのため、次の教育目標を掲げます。

- [1] 持続可能な開発に向けた多様性と包摂性の必要性、および技術者の責任の理解の養成
 - [1-1] 人と社会の多様性を認知して異なる立場や価値観を持つ人々と協働する意義の理解
 - [1-2] 工学分野における複合的な問題に対処する知識の獲得と技術者の責任の理解
- [2] 海洋土木工学分野に必要な知識の体系的な理解とそれを活用する能力の養成
 - [2-1] 海洋土木工学分野に適用可能な数学、自然科学および情報技術の基礎知識を活用する能力
 - [2-2] 海洋土木工学に関連する専門的知識を活用する能力
- [3] 地域社会の課題を自主的に発見し、それを分析・解決する能力・態度の養成
 - [3-1] 持続可能な開発に貢献するために必要な海洋土木工学分野の基礎知識を活用する能力
 - [3-2] プロジェクトをマネジメントするために必要なコミュニケーション能力
 - [3-3] 実験・調査・研究を通じた新技術への適応や継続的研鑽の必要性の理解

<入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）>

1. 求める人材像

海洋土木工学プログラムは、土木工学に関する豊富な知識と判断力、海洋に関する深い理解および高い倫理観を有する人材の育成をめざしています。このような観点から、本プログラムでは次のような学生を求めています。

- ・高等学校で学ぶ数学・理科などの基礎学力を十分にもち、論理的思考の好きな人
- ・持続可能な国土・海洋の開発と保全に関する話題に関心を持ち、関連分野で活躍したい人
- ・自然環境と人間社会との調和・共生に関わる技術開発に興味と情熱をもつ人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語、情報などの基礎学力のほか、特に海洋土木工学プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

高等専門学校等から編入学する場合、高等専門学校レベルの一般教養、数学、英語などの基礎学力のほか、海洋土木工学プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

海洋土木工学プログラムでは、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ、私費外国人学部留学生選抜、国際バカロレア選抜により入学者を選抜します。

また、高等専門学校等からの編入学では、『推薦による選抜』と『学力検査による選抜』により編入学者を選抜します。

- ・一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テスト及び個別テスト等の総合得点に基づいて基礎学力、思考力などを評価し選抜します。
- ・一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テスト及び個別テスト等に基づいて基礎学力、志望動機、学習意欲などを評価し選抜します。
- ・学校推薦型選抜Ⅰでは、面接、小論文を課し、高校の調査書を含め、基礎知識、基礎学力、学習意欲、目的意識と適性などを評価し選抜します。
- ・学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストに加え、個別テスト等で面接を課し、高校の調査書を含め、専門分野を学ぶ上で必要な基礎学力と学習意欲、目的意識と適性などを評価し選抜します。
- ・私費外国人学部留学生選抜では、個別テスト等で面接を課し、基礎学力、日本語能力、学習意欲、目的意識などを総合的に評価し選抜します。
- ・国際バカロレア選抜では、IB最終試験6科目の成績、志望理由書などの書類審査により、基礎学力、論理的思考力、表現力などの能力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。
- ・編入学の『推薦による選抜』では、面接、小論文を課し、高等専門学校長の推薦書・調査書、成績証明書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。
- ・編入学の『学力検査による選抜』では、「土木系を専攻している志願者」に対しては、専門教育科目などの学力検査、面接を課し、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。「土木系を専攻していない志願者」に対しては、学力検査、小論文、面接を課し、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。